

1 主題構成表

主題名 「あきらめないでやりぬく心」 (小学校・中学年)

資料名 「うちかつ心—中村 久子」

■ 内容項目 1-(2)
自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げる。

■ 価値の分析
・児童が自立し、よりよく生きていくには、自分がやらなければならないことはしっかりとやり抜くことが大切である。そこには、何事にも粘り強く取り組み、努力し続ける忍耐力も求められる。
・よりよい自己を実現しようとする向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚されてくる。
・この段階においては、自分がやらなければならないことだけではなく、自主性を発揮し、自分でやろうと決めたことに対しても積極的に取り組み、粘り強くやり遂げる精神を育てることが大切になる。

■ 内容項目から見た児童の実態
(意識)
・係活動や学習等では、自分がやらなければならないことを最後までやり抜こうとする意識が強い。また、教師や保護者等にほめられることで、努力を続けようとする気持ちがより強くなる。
・よりよい自分を目指して生活や学習の目標を立て、その達成に向けて努力したいという気持ちがある。一方で、自分が決めたことでも、困難な場面に直面すると、途中であきらめて投げ出したい気持ちになる。
(要因)
・面倒なことや難しいことがあってもあきらめずに最後までやり抜くことで、達成感や成就感を味わった経験が少ない。
・自分が決めたことを最後までやり抜くことが、自分自身の成長や、願いの実現につながることに気付いていない。

■ 資料の分析
・本資料では、病気になり、幼くして手足を失った久子が、「友だちと同じことができるようになりたい」という願いをもち、母親から与えられた着物の糸をほどく仕事を、何度もあきらめそうになりながらも、粘り強くやり抜く姿が描かれている。
・どうやっても糸をほどくことができないために、「誰かに頼りたい」「困難から逃げたい」と思う久子の弱さに共感することができる。
・それでも、着物をほどくことを投げ出さず、やると決めたことを粘り強くやり抜こうとする久子の強さに気付くことができる。
・着物の糸をほどき切った久子の気持ちから、難しくても最後までやり切ることで、達成感や成就感を味わえることに気付くことができる。

■ ねらい
困難に直面してもあきらめずに最後までやり抜くことが達成感や成就感につながることに気づき、自分でやろうと決めたことを粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

■ 展開の構想
・思うように糸がほどけない辛さや苦しきから、人に頼ったりあきらめたりしそうになっている久子の思いに共感させる。
・それでも、着物をほどくことをあきらめず、やると決めたことを粘り強くやり抜こうとする久子の強さに気付かせる。
・1枚の着物をほどき終えた久子の気持ちから、辛さや苦しさを乗り越えてやり切ったことで味わえる達成感や成就感に気付かせる。
・自分の生活を振り返ることで、自分でやると決めたことを粘り強くやり遂げようとする心情を高める。

■ 基本発問 (◎中心発問)
○どうやっても糸をほどくことができないでいたとき、久子さんはどんな気持ちだったでしょうか。
◎久子さんはどうしてほどき物をわきの下にはさんだり、口にはさんだりしながら、ほどき方を考え続けたのでしょうか。
○1枚の着物をほどくことができ、「おかあさん、ほれ、ほどいてしまったよ。」と言ったとき、久子さんはどんな気持ちだったでしょうか。
○これまでに、自分がやろうと決めたことを最後までやり抜いたことはありますか。

■ 「わたしたちの道徳」の活用 (授業前 ・ 授業中 ・ 授業後 ・ 活用しない)
(活用の仕方) 帰りの会で、「目標に向かってがんばり続けるひけつ」(P.23)を読み、目標に向かって努力することについて考える。その後、家庭に持ち帰って家族と話し合い、記入する。